

令和元年度 大田区区民協働推進会議（第2回）

日時：令和元年6月27日（木）

場所：本庁舎2階 204会議室

【議題】

- 1 委員の活動紹介
- 2 地域力応援基金助成事業【スタートアップ助成・ステップアップ助成】（新規）の審査について
- 3 令和元年度調査研究テーマについて
- 4 その他

【出席者】

委員：中島・志村・櫻井・柳谷・小林・石垣・小白木・中澤

事務局：区民協働担当課長・区民協働担当係長・区民協働担当2名・生涯学習担当4名

【会議録】

事務局	<p>定刻になりましたので、令和元年度 第2回大田区区民協働推進会議を始めさせていただきます。</p> <p>本日は、牛山副会長、酒井委員、中原委員、小倉委員からご欠席の連絡をいただいております。</p> <p>ただいま、委員12名のうち8名の方にご出席いただいております。過半数に達しておりますので、大田区区民協働推進会議設置要綱第6条に基づき、会議は有効に成立したことをご報告申し上げます。</p> <p>開会にあたり、中島会長にご挨拶をお願いいたします。</p>
会長	《会長あいさつ》
事務局	ありがとうございました。ここからは中島会長に進行をお願いいたします。
会長	会議を始めさせていただきます。お手元の会議次第に沿って進めたいと思います。最初に、委員の活動紹介について、事務局より説明をお願いします。
事務局	<p>今年度、委員の改選がありましたので、委員の皆様にご自身の活動を紹介していただくため、活動紹介シートをご提出いただきました。お忙しい中作成していただき、ありがとうございました。</p> <p>取りまとめた資料をお手元にお配りしております。</p> <p>区民協働推進会議は、各団体からの推薦された代表者や、熱意ある区民の皆様が委員となっただき、協働についてそれぞれの立場で主体的に議論する場であるとともに、区のめざす協働の形が具現化された会議体でございます。</p> <p>それぞれの委員の皆様活動を知っていただくことも、協働を推進するこの会議では重要なことと考え、お願いした次第でございます。</p> <p>改めて各委員のご紹介をさせていただければと存じます。順にご紹介をよろしく願いいたします。</p>
委員	《委員自己紹介》
会長	<p>皆様、ありがとうございました。</p> <p>つづきまして、地域力応援基金助成事業【スタートアップ助成】（新規）の審査について、事務局より説明をお願いいたします。</p>

会長	<p>《審査資料（秘）配布》</p> <p>《委員全員で審議》</p> <p>《資料回収》</p> <p>次に、「令和元年度調査研究テーマ」を議題といたします。事務局より説明をお願いします。</p> <p>《調査研究テーマ概要説明》</p>																											
事務局	<p>今年度の調査研究テーマ（案）「協働と学びの地域づくり～社会的包摂による持続可能な地域社会の実現に向けて～」として事務局案としてご提示させていただきました。</p> <p>このテーマ（案）に至った背景といたしまして、国において、「新しい公共」や「生涯学習社会」の実現などが謳われる中、平成 27 年度の組織改正に伴い、教育委員会から地域力推進課へ生涯学習担当が移管されたことを契機に、区民協働推進会議は「学びに取り組む区民を地域活動につなぐための支援策」をテーマに調査研究を行い、その成果の一つとして「おおた地域力発見ガイド」を作成してきました。しかし、平成 27 年度の調査研究の結果が、現在の各事業にどのように影響を与えてきたか効果を検証していない現状にあります。</p> <p>平成 30 年 4 月には、区民協働担当と生涯学習担当が一つの係に統合されるなど、今後は、地域に根ざした学びと多様な主体のネットワークを生かした地域づくりを進めるため、人々の自発的意思を尊重しながら「協働」と「学び」の結びつきを一層深めることが重要となります。そのためには、区民協働と生涯学習の事業全体が連動し、総合的かつ計画的に展開していく必要があります。</p> <p>ついでには、改元され新たな時代の幕開けとなるこの機会を捉え、将来にわたり、豊かで持続できる地域社会を築くために、時代に即した「協働」と「生涯学習」のありかたを整理し、地域づくりの未来ビジョンの展望を調査研究にしたいと考え、今回のテーマ（案）とさせていただきます。</p> <p>また、「おおた未来プラン 10 年」が終了し、令和 3 年に予定されている次期基本計画等の策定に伴い、その方向性を検討し、基本計画に反映するのであれば、計画策定前に検証に取り掛かり、方向性を区長へ提言する必要があると考えております。</p> <p>従来、区民協働推進会議の調査研究の取り組みにつきましては、年度ごとに一つのテーマに取り組み、次年度に前年度のテーマからの発展であったり、新たなテーマに取り組むなどの形で進めてまいりましたが、協働と生涯学習について十分に議論を重ねていただきたいと考えておりますので、今年度につきましては、1 つのテーマを 2 年度にかけて進めていただきたいというのが事務局案でございます。</p> <p>・進め方（スケジュール案）</p> <table border="1" data-bbox="300 1592 1445 2018"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>開催回</th> <th>開催月</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">令和元年</td> <td>第 2 回</td> <td>令和元年 6 月</td> <td>調査研究テーマ決定</td> </tr> <tr> <td>第 3・4・5 回</td> <td>令和元年 7 月から 12 月</td> <td>テーマについての調査研究</td> </tr> <tr> <td>第 6 回</td> <td>令和 2 年 2 月</td> <td>中間報告</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">令和 2 年</td> <td>第 1 回</td> <td>令和 2 年 4 月</td> <td>テーマについての調査研究</td> </tr> <tr> <td>第 2 回</td> <td>令和 2 年 6 月</td> <td>提言内容の決定</td> </tr> <tr> <td>第 3・4・5 回</td> <td>令和 2 年 7 月から 12 月</td> <td>各事業の具体的な検証</td> </tr> <tr> <td>第 6 回</td> <td>令和 3 年 2 月</td> <td>最終報告</td> </tr> </tbody> </table>	年度	開催回	開催月	内容	令和元年	第 2 回	令和元年 6 月	調査研究テーマ決定	第 3・4・5 回	令和元年 7 月から 12 月	テーマについての調査研究	第 6 回	令和 2 年 2 月	中間報告	令和 2 年	第 1 回	令和 2 年 4 月	テーマについての調査研究	第 2 回	令和 2 年 6 月	提言内容の決定	第 3・4・5 回	令和 2 年 7 月から 12 月	各事業の具体的な検証	第 6 回	令和 3 年 2 月	最終報告
年度	開催回	開催月	内容																									
令和元年	第 2 回	令和元年 6 月	調査研究テーマ決定																									
	第 3・4・5 回	令和元年 7 月から 12 月	テーマについての調査研究																									
	第 6 回	令和 2 年 2 月	中間報告																									
令和 2 年	第 1 回	令和 2 年 4 月	テーマについての調査研究																									
	第 2 回	令和 2 年 6 月	提言内容の決定																									
	第 3・4・5 回	令和 2 年 7 月から 12 月	各事業の具体的な検証																									
	第 6 回	令和 3 年 2 月	最終報告																									

課長	<p>区の方針策定時から時間が経過し、社会の状況が変わっているため、一度振り返る必要があると認識しております。現在区の基本計画である未来プラン 10 年の計画期間が満了し、今後 2 年間で新たなプランを策定していくこととなっております。</p> <p>その中で、区民協働・生涯学習においては、これに先行して地域活動を豊かにするための生涯学習というアプローチを検討していく必要があると考えております。皆様のアドバイスをいただきながら、具体的に検討していきたいと考えておりますので、よろしくをお願いします。</p>
志村委員	<p>今回の資料をととても興味深く拝見しました。区の組織がどのように変わってきたのかを学ぶ良い機会となりました。</p> <p>資料の中で区民協働と生涯学習が連動するという言葉がありますが、これを書いただけにしないために、大胆に取り組んでいき、区民協働と生涯学習のお互いの良い部分を取り入れていくべきだと思います。</p>
会長	<p>ものすごくテーマが広いので、ポイントを絞りながら取り組む必要があると思います。</p>
小白木委員	<p>区民協働と生涯学習の連動は素晴らしいと思います。現在、私は大田区民大学の企画員ですが、今まで連動が見えにくかったです。区民一人ひとりの学びから地域の活動へ繋がっていく仕組みづくりを考える良い機会でうれしく思います。</p>
課長	<p>社会の状況が変わりゆく中でも、学びの機会は一生続く貴重なものと捉えております。学びがきっかけとなり、経験や知識が蓄積され人生が豊かになったり、それが地域活動に繋がるきっかけになればと考えております。</p>
会長	<p>一人ひとりが手を携える共生社会というので、学習をしながら仲間をつくり、勉強をすることは身を助けることで、一生を楽しく暮らしていけることで良いことだと思います</p>
会長	<p>事務局案の調査研究テーマに賛成しますか。</p> <p>《委員一同承認》</p>
会長	<p>予定しておりました議題は以上です。そのほか、何かございましたらご発言願います。</p> <p>《発言なし》</p>
会長 事務局	<p>事務局から報告はありますか。</p> <p>チャレンジ・チャレンジプラス助成の募集をし、チャレンジ助成の応募はありませんでした。チャレンジプラスから健康政策部のあげた「おおた健康プロジェクトを推進する事業」をテーマにチャレンジプラス助成の申請が 3 件ございました。3 団体とも書類審査は通過し、今後は公開プレゼンテーションを予定しておりますので、引き続きよろしくをお願いします。</p>
会長	<p>予定しておりました議題は以上でございます。</p> <p>次回の推進会議の日程について、事務局からお願いします。</p> <p>《令和元年度 臨時会は 7 月 22 日（月）に開催》</p>
会長	<p>会議を終了させていただきます。皆様、本日はありがとうございました。</p>

《閉会》